

科目名	英語4A (Reading 4) X	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	茅野 潤一郎	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	3Aに引き続き、現代社会の様々な話題を英語で読み、英語読解力のさらなる向上を目指し、単語力の強化と英文を正確に読んで理解する能力を養成します。可能な限り正確に読むことを心掛けながら、読解のスピードも徐々に上げていくようにします。また、既習の単語の意味や用法の再確認も行います。授業内容に応じて、講義形式、ペア活動、グループワークの形態を取ります。 ディプロマポリシーの「他者と協力して問題解決にあたる」能力、および、「国際理解とコミュニケーションに必要な英語力」の育成を目指します。				
学修到達目標	現代社会に関する比較的平易な文章を、正確に読み取ることができる。語彙を増やすことができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Introduction Learn English with a robot
第2回	Learn English with a robot (続き)
第3回	Noise level and disease

第4回	Noise level and disease (続き)
第5回	Reading faces 小テスト
第6回	Reading faces (続き)
第7回	Mid-examination Meditation and sports (導入)
第8回	中間試験の解説 Meditation and sports
第9回	Meditation and sports (つづき)
第10回	Digital disabilities 小テスト
第11回	Digital disabilities (つづき)
第12回	VELC Test Digital disabilities (復習)
第13回	Culling Feral Cats

第14回	Culling Feral Cats (つづき) Migration to Mars
第15回	Migration to Mars (つづき) 小テスト
第16回	Final Examination

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間 テキスト内容理解と練習問題の解答
【復習】時間・内容	1時間 テキストの学習内容の整理と音読練習

成績評価	
評価基準・方法	60% Exams 15% Vocabulary Quizzes 15% In-class activity/attitude 10% VELC Test ・VELCテストの結果を成績の10%に含みます。
フィードバック方法	・小テスト、中間テストについては授業にて解説をします。期末テストについてはポータル上でコメントします。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク
教科書/参考書	Kobayashi, T. & Benfield, B. (2018). Science in Our Daily Life. Tokyo: Seibido.
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を必ず持参すること。（持参しない場合は、授業に参加する意欲が無いものとして扱われます。） ・出欠については厳格に扱います。教員による出欠確認後の入室は出席扱いになりません。（特別な事情による遅刻についてはもちろんこの限りではありません。申し出てください。） ・受講者のニーズによって、授業後半には、教科書中の異なるユニットを扱う可能性があります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語4A (Reading 4) Y	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	阿部 聡		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	様々な文章構造のパスセージに触れ、文章構造に応じた英語の読解力・読解ストラテジーを身につけることと、語彙力の一層の涵養につとめ、教員の補助がなくとも英文を読みこなせるようになることを目的とする。補助的にリスニングストラテジーの強化も目指す。				
学修到達目標	英語の読解力向上を目指す授業なので出来るだけ多くの英語を読んでいます。英文法の知識を活用し辞書の助けを借りながら英語を読める基礎力の修養とさらなる語彙力の増強を本授業の学習到達目標とします。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 8 Global Issues
第2回	Unit 8 Global Issues
第3回	Unit 9 Japanese Culture

第4回	Unit 9 Japanese Culture 小テスト
第5回	Unit 10 Human Rights
第6回	Unit 10 Human Rights
第7回	Unit 11 Health & Medical Issues
第8回	中間テスト Unit 11 Health & Medical Issues
第9回	Unit 12 Environmental Issues
第10回	Unit 12 Environmental Issues
第11回	Unit 13 Economy & Industry 小テスト
第12回	VELCテスト Unit 13 Economy & Industry
第13回	Unit 14 Legal Issues

第14回	Unit 14 Legal Issues Unit 15 Science & Technology
第15回	Unit 15 Science & Technology これまでのまとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：Forms（など）への解答記入（部分的な和訳の課題やTrue/Falseの解答）を含みます。
【復習】時間・内容	1時間：予習時に不明だった点を中心に、読解過程の再確認をする。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験=25%、小テスト=40% その他=中間試験25%+VELCテスト10%
フィードバック方法	点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELCテストの結果は成績に10%反映させ、また前期のVELCテストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。小テスト、課題は採点し講評を加えて返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	VELC研究会教材開発グループ（2018）AMBITIONS Intermediate 4技能統合型で学ぶ英語コース：中級編，金星堂。（「初中級編 Pre-Intermediate」と混同しないように注意） 参考書として辞書（紙、電子辞書、電子辞書のコンテンツに相当する（品質が高く使いやすい）スマートフォンもしくはPCの辞書アプリ；ただし、試験の際に辞書持ち込み可とする場合には不正防止のため通信機能を持たない辞書に限って持ち込み可とする可能性あり）
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。忘れずに持ってくる。授業中にPCを用いる機会もありますのでこちらも忘れずに持ってくる。受講生の事前学習状況などにより、シラバス通りには進まないことがあります（講義ではなく演習であるため）。この点は留意してください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語4A (Reading 4) Z1	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	辻 照彦		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、大学生にふさわしい読解力を修得する。国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。				
学修到達目標	平明な英語で書かれた文書を正確に読むことができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Lesson 7: Shaking Hands
第2回	Lesson 7: Dialog
第3回	Lesson 8: Job Hunting

第4回	Lesson 8: Dialog
第5回	Lesson 9: Money or Greeting Cards?
第6回	Lesson 9: Dialog
第7回	7課から9課までのまとめ
第8回	まとめと中間テスト
第9回	Lesson 10: Cash or Credit Card?
第10回	Lesson 10: Dialog
第11回	Lesson 11: Independence or Parasite?
第12回	VELCテスト (予定)
第13回	Lesson 11: Dialog

第14回	Lesson 12: Working Year Round
第15回	Lesson 12: Dialog
第16回	学期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。テキストのエッセイの意味確認と指定された練習問題の予習。
【復習】時間・内容	1時間。テキストのエッセイと練習問題の復習。プリントによる語彙の確認。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験50%、小テスト25%、授業への参加15%、VELCテストの結果10%を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	小テストやレポートの模範解答と講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	Joshua Cohen, Spotlight on America and Japan (南雲堂)
受講上の留意点等	無断欠席・遅刻は絶対にしないこと。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語4A (Reading 4) Z2	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	恩田 公夫	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、大学生にふさわしい読解力を修得する。国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につける。				
学修到達目標	辞書を引きながら、自分の力で標準的なレベルの英語を理解できるようになる。平易な英語表現ができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	小テスト Chapter 8: The Story of Sugar (前半) の学習
第2回	小テスト Chapter 8: The Story of Sugar (後半) の学習
第3回	小テスト Chapter 9: Companion Animals (前半) の学習

第4回	小テスト Chapter 9: Companion Animals (後半) の学習
第5回	小テスト Chapter 10: Music And Medicine (前半) の学習
第6回	小テスト Chapter 10: Music And Medicine (後半) の学習
第7回	小テスト Chapter 11: Please Listen to Me! (前半) の学習 小テストの累計点のフィードバック (1)
第8回	小テスト Chapter 11: Please Listen to Me! (後半) の学習
第9回	小テスト Chapter 12: Let's Eat Together! (前半) の学習
第10回	小テスト Chapter 12: Let's Eat Together! (後半) の学習
第11回	小テスト Chapter 13: Being Alone vs. Being lonely (前半) の学習
第12回	小テスト Chapter 13: Being Alone vs. Being lonely (後半) の学習
第13回	小テスト Chapter 14: Believe in Yourself (前半) の学習

第14回	小テスト Chapter 14: Believe in Yourself (後半) の学習 小テストの累計点のフィードバック (2)
第15回	小テスト Chapter 15: The Interview (前半) の学習
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習時間は90分。毎回授業の初めに予習範囲について小テストを行うので、しっかりと準備をしておいてください。
【復習】時間・内容	復習時間は30分。予習段階でよく分からなかった個所について、しっかりと理解に努めてください。

成績評価	
評価基準・方法	小テスト40%、期末試験50%、VELC10%で評価します。
フィードバック方法	小テストについては途中で2回、累積点をフィードバックしますが、返却はしません。小テストの正解例は、授業の中で明らかにします。 定期試験については、試験後に模範解答、講評を発表します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	Joan McConnell: Healthy Habits for a Better Life (成美堂) 1900円 (税別)
受講上の留意点等	授業では予習を重視し、予習をどの程度しっかりしてきたかを確認するための小テストを毎回行います。 授業には必ず辞書を持参し、分からない単語はすぐに調べるようにしてください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : B

科目名	英語4A (Reading 4) Z3	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	阿部 聡		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	様々な文章構造のパスセージに触れ、文章構造に応じた英語の読解力・読解ストラテジーを身につけることと、語彙力の一層の涵養を図り、教員などの解説がなくとも英文が読めるようになることを授業目的とする。				
学修到達目標	英語の読解力向上を目指す授業なので出来るだけ多くの英語を読んでいます。英文法の知識を活用し辞書の助けを借りながら英語を読める基礎力の修養とさらなる語彙力の増強を本授業の学習到達目標とします。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 8 Brainstorming
第2回	Unit 8 Brainstorming
第3回	Unit 9 A Good Consumer

第4回	Unit 9 A Good Consumer 小テスト
第5回	Unit 10 Welcome to the Hall of Fame!
第6回	Unit 10 Welcome to the Hall of Fame!
第7回	Unit 11 Special Circumstances
第8回	中間試験 Unit 11 Special Circumstances
第9回	Unit 12 Lies and Statistics
第10回	Unit 12 Lies and Statistics
第11回	小テスト Unit 13 Building Break Ground on Blackwood Bridge Project
第12回	VELCテスト Unit 13 Building Break Ground on Blackwood Bridge Project
第13回	Unit 14 Coded Communication

第14回	Unit 14 Coded Communication Unit 15 Lucid Dreaming
第15回	Unit 15 Lucid Dreaming
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：Forms（など）への解答記入（部分的な和訳の課題やTrue/Falseの解答）を含みます。
【復習】時間・内容	1時間：予習時に不明だった点を中心に、読解過程の再確認をする。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験=25%、小テスト・課題=40% その他=中間試験25%+VELCテスト10%
フィードバック方法	点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELCテストの結果は成績に10%反映させ、また前期のVELCテストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。小テスト、課題は採点し講評を加えて返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク
教科書/参考書	竹内理ほか (2019) ENGLISH STREAM: Intermediate 金星堂 参考書として辞書 (紙、電子辞書、電子辞書のコンテンツに相当する (品質が高く使いやすい) スマートフォンもしくはPCの辞書アプリ ; ただし、試験の際に辞書持ち込み可とする場合には不正防止のため通信機能を持たない辞書に限る可能性あり)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。忘れずに持ってくる。授業中にPCを用いる機会もありますのでこちらも忘れずに持ってくる。受講生の事前学習状況や関心などにより、シラバス通りには進まないことがあります (講義ではなく演習であるため)。この点は留意してください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : B

科目名	英語4A (Reading 4) Z4	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	市橋 孝道		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-2-130141	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	<p>これまでに培った英語読解力のさらなる向上を目指し、英文を正確に読んで理解する能力を養成します。理解度確認の練習問題のみならず、内容に関連したリスニング問題や文法問題も扱い、TOEIC形式の問題にも慣れます。これにより、グローバルなネットワーク社会で活躍するための国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を身につけると同時に、グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向き合う実践的な態度を獲得し、国境を越えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得する準備をしたいと思います。</p>				
学修到達目標	現代社会に関する比較的平易な文章を、正確に読み取ることができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Reading Unit 8 Office Security passive voice / causative テッドのオフィス・セキュリティ対策は？
第2回	Exercises Unit 8 Office Security passive voice / causative テッドのオフィス・セキュリティ対策は？
第3回	Reading Unit 9 Her Memory Is Coming Back! direct speech / reported speech 徐々に回復する女性の意識 小テスト

第4回	Exercises Unit 9 Her Memory Is Coming Back! direct speech / reported speech 徐々に回復する女性の意識
第5回	Reading Unit 10 Is Ted Bryson a Criminal? progressives / auxiliary verbs テッドは犯罪者なのか? 小テスト
第6回	Exercises Unit 10 Is Ted Bryson a Criminal? progressives / auxiliary verbs テッドは犯罪者なのか?
第7回	中間試験 Unit 8-10の整理と発展
第8回	中間試験の講評 Reading Unit 11 Who Is She? infinitives / gerunds 女性は会社経営者なのか、その正体は?
第9回	Exercises Unit 11 Who Is She? infinitives / gerunds 女性は会社経営者なのか、その正体は?
第10回	Reading Unit 12 Do You Realise Who You Are? prepositions / conjunctions 必要とされる監視システム 小テスト
第11回	Exercises Unit 12 Do You Realise Who You Are? prepositions / conjunctions 必要とされる監視システム
第12回	VELCテスト
第13回	Reading Unit 13 How Are You? imperatives / exclamations 医者も驚くほどの回復力 小テスト

第14回	Exercises Unit 13 How Are You? imperatives / exclamations 医者も驚くほどの回復力
第15回	Reading Unit 14 A Face in the Crowd relatives 車椅子で病院から謎の失踪 Unit 15 Did You Watch TV Last Night? subjunctives 国際会議場に謎の女性の姿が！
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。教科書本文の予習。
【復習】時間・内容	1時間。英文和訳の不明点を理解する。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験=25%、小テスト・課題=40% その他=中間試験25%+VELCテスト10% 点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELCテストの結果は成績に10%反映させ、また後期のVELCテストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。
フィードバック方法	小テスト、ワークシートは採点し講評を加えて返却する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク/プレゼンテーション
教科書/参考書	Kickoff English Mystery (『キックオフ ミステリー』-楽しく学べる総合英語) Terry O' Brien, 三原 京, 宇佐美 彰規, 木村 博是 著 (南雲堂出版, ¥2,200) ISBN: 9784523178767
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を必ず持参すること。(持参しない場合は、授業に参加する意欲が無いものとして扱われます。) ・欠席回数5回で期末試験の受験資格を失います。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B